

環境経営レポート



限りある資源のために。今出来る事を。

活動期間：2023年4月～2024年3月

2024年5月1日

有限会社 森 吉

目 次

1. 組織の概要及び対象範囲	1ページ
2. 環境経営方針	2ページ
3. 環境経営目標	3ページ
4. 環境経営計画	4ページ
5. 環境経営目標の実績	5ページ
6. 環境活動の次年度の取組内容	6ページ
7. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに 違反、訴訟等の有無	7ページ
8. 代表者による全体評価と見直しの結果	8ページ
9. 実施体制	9ページ
10. 産業廃棄物処理工程図	10ページ
11. 廃棄物収集運搬業許可・処分業許可内容及び許可の有効期限	11ページ

1. 組織の概要及び対象範囲

商 号	有限会社 森 吉
設 立	昭和30年5月1日
代 表 者	代表取締役 畑 将雄
所 在 地	〒236-0004 神奈川県横浜市金沢区福浦1-14-7 TEL045-785-8855 FAX045-785-8100
資 本 金	500万円
環境管理責任者	坪井 勝次 連絡先 TEL045-785-8855 FAX045-785-8100 e-mail:k.tsuboi@moriyoshi-h.com
事業活動の内容	(1)産業廃棄物中間処分業 横浜市(破碎施設17.56t/日) (2)産業廃棄物収集運搬業 東京都 神奈川県 千葉県 茨城県 (3)一般廃棄物収集運搬業 横浜市
従 業 員 数	12名(作業員3名 運転手4名 事務員4名)
売 上 高	3,667百万円
保 有 車 両	(1)運搬車両・アームロール車 5台・平ボデー 2台・パッカー車 2台 (2)作業用車両・油圧ショベルローダー 3台・フォークリフト 4台
処理施設	中間処理・破碎 廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、金属くず、ガラスくず及び陶磁器くず、がれき類 17.56t/日 処理方式、処理工程図:産業廃棄物処理工程図
積み替え保管	無
処理実績	収集運搬量(1278 t)処理量(4408 t)一般廃棄物運搬量(102t)
廃棄物処理料金	打合せによる(廃棄物処理料金表に基づく)
認証、対象範囲	
対象事業所 事業活動	本社:神奈川県横浜市金沢区福浦1-14-7 産業廃棄物収集運搬及び中間処理、一般廃棄物収集運搬、資源リサイクル

2.環境経営方針

環境経営方針

【企業理念】

私たちは、産業廃棄物収集運搬及び中間処理業者として、環境に配慮した事業活動に取り組み、循環型社会の形成、環境負荷を継続的に削減していく事を目指していきます。

《行動指針》

1.事業活動全般において、環境負荷を低減するため、全社員で次の活動に取り組めます。

- ① 二酸化炭素総排出量の削減(SDGs項目7・13)
- ② 総排水量の削減(SDGs項目6)
- ③ 廃棄物の総排出量の削減(SDGs項目11・12・14)

2.環境マネジメントシステムの構築と継続的改善に努めます。(SDGs項目4)

3.受託した廃棄物のリサイクル率の向上、資源化に努めます。(SDGs項目12)

4.全従業員に対し、環境及び廃棄物などに関する法律等の周知を計画的に実施し、社員の意識向上を図ります。(SDGs項目4)

5.環境経営レポートを社内外に公表する等、環境保全に関する情報提供を行い、地域社会の一員として貢献活動の推進に勤めます。(SDGs項目11)

6.環境関連法規制等の遵守をします。

7.働きやすい職場環境作りを推進します。(SDGs項目8)



2022年4月1日改定

有限会社 森 吉
代表取締役 畑 将雄

3.環境経営目標

推進項目	基準値	目標			
	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	
	100%	99%	98%	97%	
1. 電力と燃料使用の合計(kg-CO ₂)	137,309	137,171	137,033	136,895	
2.電力の削減(kWh)	25,646	25,620	25,594	25,568	
(kg-CO ₂)	13,361	13,347	13,333	13,319	
3.燃料の削減(L)	48,015	47,966	47,918	47,870	
(kg-CO ₂)	123,879	123,755	123,631	123,507	
4.運搬車両の燃費向上(年平均)(ℓ/km)	5.54	6.09	6.69	7.35	
5.受託した廃棄物処理量の資源化(t)	3,137	3,168	3,200	3,231	
		1%	2%	3%	
6.受託した廃棄物処理量最終処分量の削減(t)	1,353	1,351	1,349	1,347	
7.水使用の削減(m3)	237	236	235	234	
8.社会的貢献(回数)					
・事業所周辺の清掃	5	5	5	5	
・駐車場周辺のコスト削減	5	5	5	5	
9.教育・訓練の実施(回数)					
・環境教育の実施	5	5	5	5	
・緊急事態訓練の実施	5	5	5	5	

購入電力の排出係数:0.521kg-CO₂/kWh

削減・資源化及び回数について

電力、燃料、水及び資源化、最終処分量は毎年1%の削減を目標とする。

資源化は毎年1%増加を目標とする。

社会貢献及び教育・訓練は毎年5回を目標とする

化学物質は使用していない

4. 環境経営計画

	環境目標、目的	実施項目	責任者	担当者	2023年度											
					4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
CO ₂ 排出量の削減	1.化石燃料使用の削減 ガソリン・軽油使用量の削減	①アイドリングストップ ②重機等の燃料削減 ③トラックのエアコン使用短縮 ④燃費向上の運転等	坪井	高野	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	2.電力購入量削減	①機械運転の効率化 ②休憩時の消灯実施 ③エアコン温度設定			◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
水の使用量削減	1.上水の使用量削減	①漏水の定期チェック ②洗車時の節水 ③使用量定期チェック		為	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
				事務局												
廃棄物総排出量削減	1.紙の使用量削減	①紙の裏面使用推進 ②コピーミスの減少		坪井	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	2.受託した廃棄物処理量の資源化	①分別精度の向上 ②再資源化の促進			◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
受託廃棄物の環境配慮	受託した廃棄物処理量 最終処分量の削減	①仕分精度の向上 ②社員教育の実施	坪井	坪井	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
					◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	3.有害物質混入防止	③搬入時の検査 ②排出業者との情報交換			◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
社会的貢献	1.地域とのコミュニケーション	①事業所周辺の清掃 ②駐車場周辺の清掃	坪井	坪井	◎		◎			◎			◎		◎	
					◎		◎			◎			◎		◎	
教育	1.環境関連・法令関連	①EA21活動内容 ②廃棄物関係法令 ③緊急時の対応 ④再資源化促進の教育	事務局	坪井	◎		◎			◎			◎		◎	

※ ◎出来ている
※ ×出来ていない

5.環境経営目標の実績

環境活動レポート作成にあたり、代表取締役と環境管理責任者が環境への取組み結果の評価を行った。
評価結果は、次のとおりである。

◆目標と実績

	今年度(2023年)目標	今年度(2023年)実績	増減	評価
1.電力と燃料使用の合計(kg-CO ₂)	137,171	114,086	-23,085	○
2. 電力の削減(kwh)	25,620	28,221	1,458	×
(二酸化炭素排出量(kg-CO ₂))	13,347	14,703	760	
3.燃料の削減(L)	47,966	38,498	-9,468	○
(二酸化炭素排出量(kg-CO ₂))	123,755	99,324	24,431	
4.運搬車両の燃費向上(年平均)(ℓ/km)	6.09	5.64	0.45	×
5.受託した廃棄物処理量				×
の資源化(t)	3,168	3,035	133	
6.受託した廃棄物処理量				×
最終処分量の削減(t)	1,351	1,388	37	
7.水使用の削減(m3)	236	296	60	×
8.社会的貢献(回数)				
・事業所周辺の清掃	5	5		○
・駐車場周辺の清掃	5	5		
9.教育・訓練の実施(回数)				
・環境教育の実施	5	5		○

(1)二酸化炭素排出量削減(電力)達成出来なかった。

引続き照明の消灯及びエアコンの設定温度管理、コンセントを抜き待機電力をなくす。

(2)二酸化炭素排出量(燃料)達成出来た。

引き続きアイドリングストップ等、配車の見直(ルートや回収時間等)をし、今後も待機時のアイドリングストップ、エコドライブを徹底する。

(3)運搬車両の燃費向上達成できなかった。燃料同様エコドライブ等の実施

(4)受託した廃棄物の再資源化

達成出来なかった。引き続き仕分精度を更に向上させ再資源化量を増やす。

(5)受託した廃棄物の最終処分量の削減

達成出来なかった。引き続き最終処分量の削減量を増やす。

(6)水使用の削減

達成できた。引き続き無駄な洗車をやめ、漏水のチェック等を行う。

6.環境活動の次年度の取組内容

当社の主要な環境保全に向けた次年度の取り組み内容は以下の通りです。

活動計画は、別紙の環境活動計画書に示す。

- (1) 総エネルギー投入量、温室効果ガス排出量削減
 - ① 収集運搬車両の燃費向上、燃料使用量の改善
 - ② アイドリングストップ（待機時等のエンジン停止の徹底）
 - ③ 重機等の燃料削減
 - ④ 機械の空運転禁止
 - ⑤ 休憩時等の照明消灯及び減灯
 - ⑥ 室内温度の設定（夏季27度冬季21度）
- (2) 水資源投入量の削減
 - ① 漏水の定期的なチェック
 - ② 車両洗車時の節水
- (3) 総物質投入量（紙）の削減
 - ① 紙の裏面使用推進
 - ② コピー時のミスの減少
- (4) 廃棄物発生量削減
 - ① 廃棄物の資源化の促進
 - ② 仕分け・分別の向上
- (5) 受託した廃棄物の環境配慮
 - ① 産業廃棄物の再資源化促進
 - ② 産業廃棄物の埋立量削減
 - ③ 有害物質の混入防止
- (6) 社会的貢献
 - ① 事業所周辺の清掃実施
 - ② 駐車場周辺の清掃実施
- (7) 教育の充実
 - ① 環境関連の教育
 - ② 緊急時の対応訓練

7.環境関連法規等の遵守状況の確認及び結果ならびに違反、訴訟等の有無

遵守義務のある法規関係

区分	環境関連法規等の名称	遵守状況の確認・評価	
		チェック日	結果
廃棄物	廃棄物の処理及び清掃に関する法律(一般廃棄物の処理)	2024/3/31	○
	廃棄物の処理及び清掃に関する法律(産業廃棄物の適正処理)	2024/3/31	○
	廃棄物の処理及び清掃に関する法律(産業廃棄物処理)	2024/3/31	○
	廃棄物の処理及び清掃に関する法律(一般廃棄物収集運搬)	2024/3/31	○
資源循環 (リサイクル)	特定家庭用機器再商品化法(家電リサイクル法)	2024/3/31	○
	使用済小型電子機器等の再資源化の促進に関する法律 (小型家電リサイクル法)	2024/3/31	○
	使用済自動車の再資源化等に関する法律(自動車リサイクル法)	2024/3/31	○
大気汚染	フロン排出抑制法	2024/3/31	○
	自動車(Nox・PM法)	2024/3/31	○

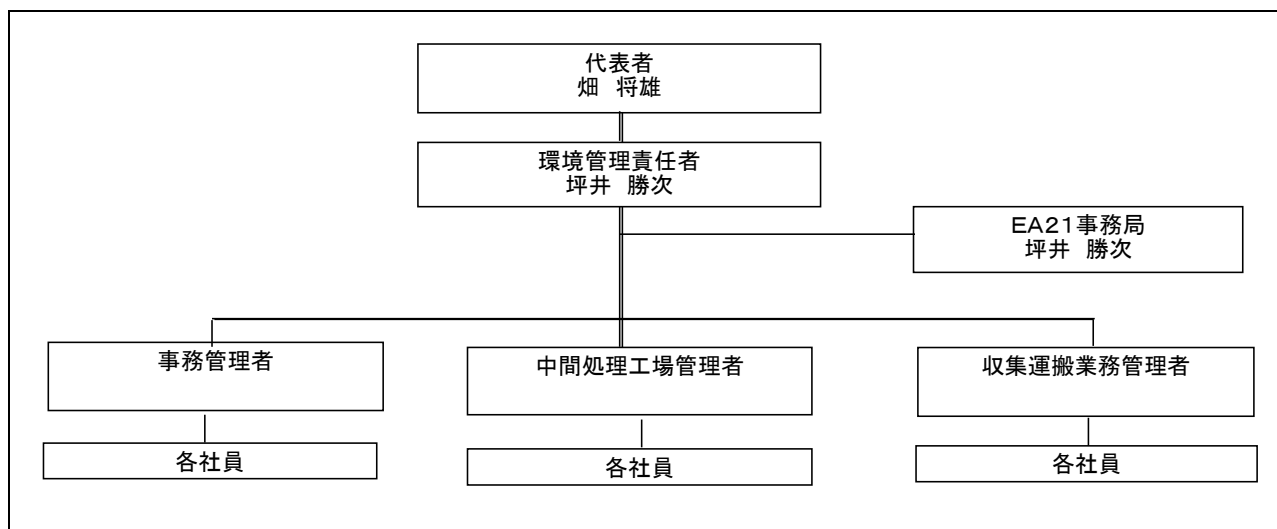
当社に係る環境関連法規等は上記の通りですが、遵守状況を確認した結果、違反はありませんでした。また、関連機関からの違反等の指摘、環境関連の訴訟も過去3年間ありません。なお、外部からの苦情は活動期間中にはありませんでした。

8.代表者による全体評価と見直しの結果

配布先	代表者による見直し 結果報告書	作成
		令和6年5月1日
		代表者 代表取締役 畑 将雄
見直し対象期間	2023年 4月 1日～2024年 3 月 31 日	
見直し実施月日	2024/5/1(定期)	
出席者	代表取締役、環境管理責任者	
提出資料名	1.環境目的、目標の達成度の改善の実施状況 2.不適合報告書及び是正事項 3.顧客、行政、住民からの申し入れ事項 4.その他環境活動レポート	
見直し結果 総評	電力、燃費、再資源化、最終処分量の削減、水使用の削減が達成できていない。従業員全員で目標設定等見直しをして目標全てを達成できるよう努めてもらいたい。	

9.実施体制

環境経営実施体制表



役 割	役割り、責任および権限
代表者	1. 取り組みの対象組織・活動の明確化 2. 経営における課題とチャンスの明確化 3. 環境経営方針の作成、全従業員に周知 4. 実施体制を構築し、役割・責任及び権限を定め、全従業員に周知する 5. 代表者による全体の評価と見直し 6. 環境経営レポートの承認 7. その他
環境管理責任者 (EA21事務局)	1. 環境負荷と環境への取組状況の把握及び評価 2. 環境関連法規の取りまとめ 3. 環境経営目標及び環境経営計画の策定 4. 環境コミュニケーションの実施 5. 取組状況の確認及び問題の是正及び予防 6. 環境関連文書類の作成・管理 7. 環境経営レポートの作成・公表 8. その他
部門責任者	1. 教育・訓練の実施 2. 実施及び運用 3. 環境上の緊急事態への準備及び対応 4. その他
全従業員	1. 環境方針の理解及び環境問題の現状と環境への取組の重要性の自覚 2. 環境経営目標、環境経営計画に基づくEA21活動の実施

10.産業廃棄物処理工程図

廃プラスチック、ガラス、陶磁器屑、がれき屑
木屑、紙屑、繊維屑、金属屑

例、 排出事業者、各工場、各現場

自社にて収集運搬

当社中間処理場

1、重機及び手選別による前処理選別

4.破碎機(品目ごとに投入)

安定型最終処分場、にて処分する。

当中間処理場に搬入された産業廃棄物は、作業員及び重機、破碎機、各種コンベアー等を使用し産業廃棄物の品目毎に再生可能物と不可能物とに分類する。選別後再生可能物は各保管庫に収納し売却もしくは逆有償にてリサイクルし、不可能物は、再生不可能ヤードに保管、後に最終処分する。

11. 産業廃棄物収集運搬業許可・処分業許可内容及び許可の有効期限

〈産業廃棄物収集運搬業〉

許可都道府県政令市	許可番号	許可年月日	産業廃棄物の種類
		許可の有効期限	
神奈川県	1401005639	平成27年1月17日 令和6年10月31日	汚泥(※1※2)、廃油、廃酸、廃アルカリ、廃プラスチック類(※1※2)、紙くず、木くず、繊維くず、動植物性残さ、ゴムくず、金属くず(※2)、ガラスくず・コンクリートくず・陶磁器くず(※1※2)、がれき類(※1) ※1: 石綿含有廃棄物を含む。 ※2: 水銀使用製品廃棄物を含む。 ※3: 水銀含有ばいじん等を含む。(注1)石綿含有産業廃棄物を含む旨、水銀使用製品廃棄物をふ旨又は水銀含有ばいじん等を含む旨の注記がない種類については、石綿含有産業廃棄物、水銀使用製品廃棄物、水銀含有産業廃棄物又は水銀含有ばいじん等を収集・運搬できない。
東京都	1300005639	令和元年6月1日 令和11年5月31日	汚泥、廃油、廃プラスチック類、紙くず、木くず、金属くず、ガラス・コンクリート・陶磁器くず、がれき類(石綿含有産業廃棄物を含む)(水銀使用製品産業廃棄物を含む)
千葉県	1200005639	令和2年11月4日 令和7年9月18日	ア廃油、イ廃プラスチック類(石綿含有産業廃棄物を含み、自動車等破砕物を除く)、ウ木くず、エゴムくず、オ金属くず(自動車等破砕物を除く)、カガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず(石綿含有産業廃棄物を含み、自動車等破砕物を除く)、キがれき類(石綿含有産業廃棄物を含む)(これらのうち特別管理産業廃棄物であるものを除く)※「石綿含有産業廃棄物を含む」の記載のない種類については、石綿含有産業廃棄物を収集・運搬できない。
茨城県	801005639	令和3年2月2日 令和7年年9月17日	廃プラスチック類(自動車等破砕物及び石綿含有産業廃棄物を除く)、金属くず(自動車等破砕物を除く)、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず(自動車等破砕物及び石綿含有産業廃棄物を除く) 以上3種類

〈特別管理産業廃棄物収集運搬業〉

許可都道府県政令市	許可番号	許可年月日	産業廃棄物の種類
		許可の有効期限	
神奈川県	1450005639	令和5年1月23日 令和9年12月13日	廃油(揮発油類、灯油類及び軽油類に限る。) 特別管理産業廃棄物 廃石綿等

一般廃棄物収集運搬業・産業廃棄物処分業許可の有効期限

〈一般廃棄物収集運搬業〉

許可市町	許可番号	許可年月日	廃棄物の種類
		許可の有効期限	
横浜市	第1090号	平成9年4月1日 令和8年3月31日	一般廃棄物(ごみ(横浜市が収集するものを除く)) 以上1種類 ≪いずれも有害物質を含むもの並びに廃PCB 汚染物を除く≫

〈処分業:中間処理〉

許可都道府県政令市	許可番号	許可年月日	事業の範囲(中間処分業:破砕施設)
		許可の有効期限	
横浜市	5620005639	令和2年8月1日 令和7年7月31日	廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くずがれき類 以上7種類(上記物は、いずれも特別管理産業廃棄物であるものを除く)
産業廃棄物の保管量	中間処理施設の概要		事業の用に供する施設の所在地
211.88m3以内	破砕施設1基(17.56t/日)		神奈川県横浜市金沢区福浦1-14-7